

北海道 PCB 処理事業所 長期処理計画について

平成 28 年 12 月末時点での処理計画は以下のとおりです。

1. 当初施設（変圧器、コンデンサー等）

(1) 処理対象 PCB 廃棄物

(平成 28 年 3 月 31 日時点の登録量、見込み量から H28 年度以降の処理対象物量を想定)

- ① 北海道事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの
  - (ア) 大型トランス 385 台
  - (イ) 小型トランス 417 台
  - (ウ) 車載トランス 135 台
  - (エ) コンデンサー 19,303 台
- ② 北海道事業エリアの処理対象物のうち他事業所で処理するもの
  - (ア) 大型トランス 5 台
  - (イ) コンデンサー（炭化品）500 台

(2) 処理計画

区分	計画的処理完了期限→							事業終了準備期間→			合計
	H28年度 見込み	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	
大型トランス	60	90	90	90	55						385
同上(東京事業所へ)	1	3	1								5
小型トランス	50	100	100	100	67						417
車載トランス	45	40	40	10							135
コンデンサー	3,702	3,760	3,760	3,040	3,000	1,900	141				19,303
同上(大阪事業所へ)	50	100	100	100	100	50					500

2. 増設施設（安定器及び汚染物等）

(1) 処理対象 PCB 廃棄物

(平成 28 年 12 月 31 日時点の登録量から H28 年度以降の処理対象物量を想定)

- ① 北海道事業エリアの処理対象物
  - (ア) 安定器及び汚染物等 1,451 トン
- ② 他事業エリアの処理対象物のうち北海道 PCB 処理事業所で処理するもの
  - (ア) 東京事業エリアの安定器及び汚染物等 3,844 トン

(2) 処理計画

区分	計画的処理完了期限→							事業終了準備期間→			合計
	H28年度 見込み	H29年度	H30年度	H31年度	H32年度	H33年度	H34年度	H35年度	H36年度	H37年度	
安定器及び汚染物等	416	353	353	329							1,451
同上(東京エリアから)	434	497	497	521	850	850	150	45			3,844
合計	850	850	850	850	850	850	150	45			5,295

※ なお、上記のほか、今後、掘り起しにより発生すると見込まれる PCB 廃棄物への対応や、処理が困難な PCB 廃棄物に関する技術的な検討についても行っていく予定。